

OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 韓 雅賢
所属 (School) 地域保健学域 教育福祉学類
学年 (Grade) 3 年

留学先 (Name of overseas institution)
プノンペン王立大学

留学期間 (study abroad period)
2019/2/13~2019/2/19

留学レポート Study Abroad Report

今回、私はカンボジア異文化理解・アイディエーション研修に一週間参加させていただきました。動機として、他国の学生と母国語以外で交わりたい、発展途上国であるカンボジアの現状を実際に感じたい、そして一度、アンコールワットに訪れたいという純粋な思いです。

カンボジアには初めて訪れましたが、まず到着して驚いたのは、車間距離がすごく狭く、バイクがとっても多い事です。日本では見られない「トゥクトゥク」という乗り物があり、現地につくや否や、カンボジアを身体で体感しました。何より、プノンペン大学の学生をはじめ、カンボジアの人々がみんな優しく、本当に温かい方ばかりで驚きました。日本では、知らない人同士なら、あまり親しく話さないことが多い中、カンボジアの人々は、初対面の人同士でも、まるで知り合いのように笑顔で話されている場面を多く見て、ふと古き良き時代と言われた昭和時代のようなものを感じることが多くありました。



バイクで通学するプノンペン大学の学生



「トゥクトゥク」



今回の研修では、現地の学生だけではなく、他大学の学生と交わる機会もあり、グループワークでも、普段とは違う視点や考え方に触れることができ、とても学びとなりました。今回の研修テーマは、「カンボジアの人々にとって、食べ物における pain となる物は何か。」というものです。グループ間で英語で意見を出し合ったり、実際にセントラルマーケットに訪れて、実態調査やインタビューを行ったりして、みんなで試行錯誤しながら最終のプレゼンテーションに向けて力を合わせました。



セントラルマーケットでのインタビュー調査

○プレゼンテーションの様子



○食事

カンボジアといってもアジア圏なので、日本と似たような料理も多くありました。

しかし、調味料が基本的にスパイシーな香辛料が多いため、辛いものが苦手な方には、少し厳しいかもしれません。フルーツと組み合わせた料理も多く、ココナッツカレーや、パイナップルと魚と一緒に煮込まれた料理などもありました。個人的には、すごくおいしい料理ばかりでした。



ココナッツカレー



パイナップル入りスープ



○最後に

特に大学での交流研修だけでなく、セントラルマーケットや、アンコールワットに訪問できたことが私にとって特別なものとなりました。なぜなら、カンボジアの人々の実生活に触れることができたと感じたからです。



確かに、プノンペン王立大学の学生との交流研修や、学生達で訪れた有名なナイトタウンなどもカンボジアでしか学べない貴重な経験です。しかし、カンボジアでの大学進学率は5%である中、プノンペン王立大学の学生との交流は本当に限られたトップ層の人々との交流であるのではないかと感じ、大学に通えるカンボジアの比較的、裕福な人々との交流だけを経験して、カンボジアの実態を知ったつもりになっていた自分に自問自答することがありました。観光地も同様に、すごく美しく、素晴らしいものでありましたが、訪れている人びとは海外の裕福そうな観光客ばかりで、これはカンボジアの国が見せたいカンボジアであって、実際のカンボジアではこのような場所は、非日常なのではないかと感じました。しかし、セントラルマーケットでは、子どもが店番をしたりなど、カンボジアでの日常の生活に触れたり、アンコールワットでは、子どもが観光客に向けて商売をする姿を目にするなど、目を背けてはならない現実にも触れることができ、国が見せたいカンボジアと現実のカンボジアの2面を経験することができ、本当に貴重な経験をする事ができ、学びとなりました。

